



レッツ・シンク！

梅の花の香りが漂い始めて、大学入試も高校入試もやっと終了。あとは桜の開花、そしてみなさんからの良い知らせを待つばかりとなりました。今年の中3生には、例年以上にハラハラさせられましたが、入試直前での教科ごとの質問の仕方に成長を感じました。理科ならどの分野のどの問題が、どうわからないのかを具体的に聞いてくれるようになりました。英語の英作文の問題も自分なりに書いたものを持ってきて、減点される個所があるかどうかを確認していました。数学の作図は模範解答との相違点を見つけて、その手順をなぞっていました。以前なら社会の記述問題も、国語の作文も空欄に近いような状態だった人も、必ず自分なりに考えたことを書くようになりました。「この歴史上の人物はいい人、悪い人？」という答えようのない質問をすることもなくなりました。人間にも歴史の流れにも、ひとつの尺度だけでは片付けられない多面的な要素があって当たり前です。○か×だけで判断することに慣れきってしまわないよう、自分で考える練習をしましょう。

大人になるということは、たとえ小さなことでも誰かをそして社会を支えていくということ。それと同時に、誰かにそして社会に簡単に利用されない、だまされない知恵を身につけるということではないでしょうか。そんな知恵の獲得は、勉強するという練習を通じて初めて見につくのだと思います。

中1・中2のみなさんは、学年末テストが終わったこの時に学校で新たに学習している分野こそが大切です。次の学年での最初の間テストにも出題され、また入試にだって出る可能性のある単元です。「テストも終わったし、あとはのんびり。」などと決め込んで、学校の授業をただボーっと聞き流さないように。中にはこの時期に習ったことが全く記憶にないという人もいます。そんなことがないよう気を緩めずに学習してください。学年が変わる今こそが、自分にとってどんな勉強が必要かを考える時。ドラマの「3年A組」に登場するみんなのように、さあ考えましょう、レッツ・シンク！